

教科・科目	対象学年	単位数	教科書（発行者）	補助教材（発行者）
地理歴史 歴史総合	1年	2	詳述歴史総合 新訂版 （実教出版）	新詳歴史総合（浜島書店） 詳述歴史総合 徹底整理演習ノート （浜島書店）
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 			
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> 教科書やプリントを用いて基本的な知識の定着を図るとともに、歴史の特徴や経緯について考え、発表する。 資料から近代化の特徴を読み取り、問いや仮説を立てながら世界史や日本史の概観を考察する。 			
評価の観点と方法	<ul style="list-style-type: none"> 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点から総合的に評価する。 考査などの知識偏重に偏らず、歴史に対する興味関心や資料の様々な角度からの読み取りなど多角的な観点から評価する。 授業への取り組みでは「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」は評価する。 定期考査では科目の到達目標をふまえた問題を作成し、「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」をそれぞれ評価する。 			
	学期	単元・学習項目		学習内容・到達度目標
年 間 の 授 業 内 容	1 学 期	歴史の扉 歴史と私たち		<ul style="list-style-type: none"> 高校の歴史学習の動機付けと以後の学習に必要な歴史学習の基本的な技能や学び方を身につけさせる。 17世紀を含めた18世紀とその前後の日本やアジアにおける生産と流通、江戸幕府の4つの口や周辺地域との貿易などを基に、18世紀東アジアの政治・経済と社会を理解し、考察する。 18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸の政治に着目して、主題を設定し18世紀のヨーロッパ各地域などを多面的・多角的に考察する。 19世紀後半のヨーロッパや日本における政治、ヨーロッパ各地域間や日本と欧米諸国の関係などを基に、19世紀後半のヨーロッパと日本の政治への理解を深める。
		第1編 近代化と私たち		
		第1章 近代化への胎動		
	2 学 期	第2章 欧米の市民革命と国民国家の形成		<ul style="list-style-type: none"> 19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義の動き、日本と東アジアの関係、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の進出などを基に、19世紀から20世紀初頭にかけてのアジアの政治と社会を理解する。 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したりして第一次世界大戦後の日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多角的に考察し表現する。 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解するとともに、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰流れを考察する。
		第3章 アジアの変容と日本の近代化		
		第4章 帝国主義の時代		
	3 学 期	第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち		<ul style="list-style-type: none"> 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を考える。 石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解する。 21世紀に入って日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養う。
		第5章 第一次世界大戦と大衆社会		
		第6章 経済危機と第2次世界大戦		
第3編 グローバル化と私たち				
第7章 冷戦と植民地				
第8章 多極化する世界				
第9章 グローバル化と現代社会				